

## 議会閉会中の委員会活動

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

### 行政視察報告

#### ●福祉文教委員会●

#### 愛知県岡崎市「岡崎市重層的支援体制整備事業について」

包括的な支援体制の整備と重層的支援体制の整備を所管する「ふくし相談課」を新設し住民の困り事を受け止めるためのあらゆる方法（アウトリーチ等を通じた継続的支援、多機関と協働し連携強化）を用いて、職員は「市民のどんな相談も断ってはいけない」との姿勢を貫いています。

市役所の窓口の仕切りを全て取り払い気楽に立ち寄れるよう改修工事をした成果も自治会加入率90%の数字にあらわれています。

人口が38万人の岡崎市と高山市を比較するのは難しいが、共通しているのは「誰ひとり取り残さない」と言う考え方です。多くのヒントをいただきました。



#### 静岡県焼津市「ターントクルこども館」



焼津市南口より徒歩8分の立地にあり2、3階に「焼津おもちゃ美術館」1階・中2階に図書館「やいづえほん」とが併設されたこども館を視察しました。

漁業の街であり海、自然、地域文化を「木」を使って伝えるコンセプトから成り、館内の空間・什器・おもちゃに多くの静岡県産木材が使用されていました。

「おもちゃ美術館」は多世代が楽しめる体験型で館内全てに時間を忘れて遊べる空間を創出、「やいづえほん」は貸出はしていない分、好きなブースで思い思いに本を読むことができ絵本を通じて「出会い」「創造」「安心」の可能性を広げることを目的としています。

#### 岐阜県「ぎふ木遊館」

岐阜県が平成25年3月に策定した「ぎふ木育30年ビジョン」に基づき、森林率全国2位の岐阜県ならではの木育に特化した施設です。

館内は靴を脱いで（できれば素足で）歩き回れば木の優しさ、ぬくもり、心地よさを体感できます。

施設は、荘川町のカラマツを天井に使用しており、白川郷の合掌造りをイメージした空間があったり、フロアは全て県内の木材を使った遊具であふれ「ぎふ木育」を発信しています。

今年度、高山市の「ぎふ木遊館サテライト施設」がオープン予定です。

「木育」で子ども達の豊かな感性を育みふるさとの自然・文化・人とのつながりを学ぶことで環境保護の大切さにも気づいてくれることを期待します。

詳しい報告書はホームページを参照ください。

